

西初石小学校 相談室だより



令和5年9月1日

スクールカウンセラー 野口恵理



2学期が始まりましたが、9月といっても、まだまだ暑い日が続きそうですね。子どもたちや保護者の皆様におかれましては、この夏休みをどのように送られたでしょうか。プールに、お祭りに、帰省にとご家族で過ごす時間はとても楽しく、あっという間の夏休みであったかもしれません。一方、保護者の皆様のお疲れも少々あるかもしれませんね。

今回は、最近よく聞く、友だちとうまく関係作りができなくて、孤立感を持ってしまうという子どもの相談について書いてみたいと思います。もともと一人で読書をしたり、絵を描いたりして過ごすのが好きな子どももいますので、一人でいることがよくないと考えているわけではありません。その子どもなりの過ごし方があっていいと思います。しかし本当は友だちを作りたい、話したいのに、どんなふうに話しかけたらいいの？と真剣に悩んでいる子どもがいます。大人からしたら自然にできるだろうと楽観的にとらえることも多いですが、『大丈夫、そのうちできるから』と声をかけるだけでは、なかなか子どものつらい思いに共感することはできません。コロナ禍でいろいろな制限がありました。子どもたちは人とコミュニケーションをとる機会が少なくなり、人と話すことが憶病になっているようにも感じます。できれば自分の楽しいと思うことを一緒に楽しめる友だちがいてくれたら、もっと学校生活が楽しくなるでしょう。年齢にもよりますが、保護者の方々は、子どもが友だちの話をしない、学校の話をしていないと思ったら、『今はどんなお友だちと仲良くしているの？』『今、学校で楽しいことは何？』と聞いてあげてほしいと思います。家庭であまり会話のないおうちでは、どうしてもコミュニケーションをとるのが苦手になります。思春期になると話さない子どももいますので、今のうちに家族の会話を大切にしましょう。逆に、親の方が心配しすぎて聞きすぎるのもどうかと思う時もありますが、友だちとうまくいっていないと感じる時は、うまく付き合えるためにどんなことを行ったらいいのかを一緒に考え、時にアドバイスをしてあげるといいと思います。何回か本人がチャレンジしてみてもうまくいかない時は、担任の先生に相談してみましよう。子どもにはうまくいったという成功体験を積み重ねることが必要なのです。学年が上がってきたら、自分で解決できるようにしていかなければなりません。担任の先生に本人から直接話をするように促し、それが難しい場合は、保護者が本人の言っている悩みを伝え、本人が直接先生からアドバイスをもらうことが必要です。子どもが言っていることも本人が感じる一面でしかない場合もありますので、保護者の皆さんはそれを担任に尋ねることも重要です。そして、1番大切なことは、子どもにはいつでもどんな時も保護者が自分のことを思い、関わり、見守ってくれているという安心感を与えてあげることです。

★2学期の相談できる日時



9/12(火)	10:00~16:00	10/17(火)	10:00~16:00
11/14(火)	10:00~16:00	12/12(火)	10:00~16:00



2学期も引き続き、保護者の皆様や子どもの悩みを一緒に考えていきたいと思っております。お気軽に相談室をご利用くださいますよう、どうぞよろしくお願い致します。

※ご相談内容に関しましては、本人の同意のない限り秘密は守りますので、安心してご相談ください。